

対象国の条件: アジア諸国

研修コース番号: 201984533-J002

案件番号: 201984533

主分野課題: 教育/乳幼児ケアと就学前教育

副分野課題:

使用言語: 英語

案件概要

本研修は、研修参加国における就学前教育へのアクセス向上や保育・幼児教育の質向上を目的に、子どもの自主性を尊重した日本の就学前教育の制度・取り組みや、各国での就学前教育の取り組み・課題を共有した上で、自国の就学前教育に関する改善計画を策定することを目標としている。また、本研修は研修参加国において子どもの自主性や情操教育を重視した教育手法の紹介を行うJOCVの活動と相互に補完し得るものでもある。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

保育・幼児教育、ECDに関する専門知識、日本の経験や手法、研修員同士の意見情報交換等を参考に、自国の課題に対応した改善案が作成され、所属組織及び他関係者へ共有される。

【成果】

1. 日本の保育・幼児教育の歴史的取組や制度・政策の特徴を理解する。
2. 包括的支援の重要性、および支援の内容と方法を理解する。
3. 乳幼児期の発達特性にもとづき、子どもの主体性を尊重する保育・幼児教育の意義、およびその内容と方法を理解する。
4. 道徳性の芽生えを含む社会情動的発達促進の意義、およびその内容や方法を理解する。
5. 保育士・幼稚園教諭養成課程と現職研修制度を学び、その特徴を理解する。
6. 研修員の自国における保育・幼児教育の課題を整理し、研修を通して得た知識をもとに、所属先で実施可能な改善のための行動計画を策定する。

【対象組織】

- ・中央または地方の教育省、子ども省、幼児教育や就学前教育を監督している行政機関
- ・保育・幼児教育またはECD分野に従事する保育士・教員を養成する機関

【対象人材】

保育・幼児教育の分野で5年以上の経験をもち、指導的立場にあつて、本邦研修修了後も継続して保育・幼児教育に携わる者。具体的には、中央または地方の行政官や指導主事、園長、教員養成機関の教員、NGO職員等。

内 容

1. 事前レポート発表/振り返り・ディスカッション
2. 講義: 日本の保育・幼児教育の制度や政策の概要/日本の保育・幼児教育の歴史的取組/日本や途上国の知見にもとづく格差是正に向けた包括的支援の重要性および支援の内容と方法/幼児期の発達特性と子ども中心の保育・幼児教育/保育・教育課程と計画/保育士・幼稚園教諭養成課程と現職研修制度の概要と特徴 等
3. 演習: 保育演習(音楽・制作・体育)/保育園、幼稚園での参加実習(掃除をはじめとする環境整備等)/アクションプランの策定と討議 等
4. 視察: 保育所/幼稚園/地域子育て支援センター/認定こども園/障害児・者施設/保育士養成施設/大学教育学部 等
5. 開講式/研修評価会/閉講式

本邦研修期間

2020/1~2020/2

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA中国

関係省庁

実施年度

2018~2020

主要協力機関

広島大学

特記事項
及び
ホームページ

広島大学 国際協力研究科
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/idec/>